

音ぶや休ふ, 記号について

1. 音ぶについて

いろいろな音ぶがありますね。それぞれの名前がわかりますか？

音ぶは、音が鳴っている長さを表します。

音ぶの長さ

○ = ♪ + ♪ + ♪ + ♪ (♪ + ♪)

♪ = ♪ + ♪ + ♪ (♪ + ♪)

♪ = ♪ + ♪

♪ = ♪ + ♪ (♪ + ♪ + ♪)

♪

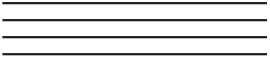
♪ = ♪ + ♪

♪ ♪ の半分

♪ ♪ の半分

音ぶの部分の名前

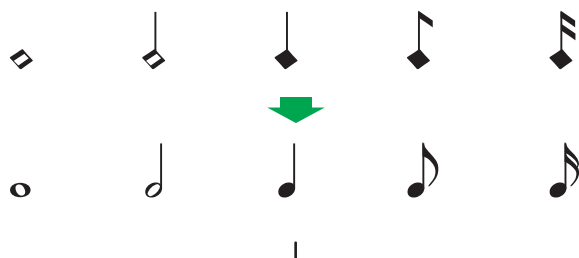


また、音ぶは  (五線ふ)

などに書かれたときは、
たまの位置で音の高さを表します。

〈音ぶ^{いまむかし}今昔〉

今から550年くらい前に使われていた音ぶと、今の音ぶをくらべてみよう。



2. 休ふについて

音のない時間を表すために、休ふを用います。

4分休ふ



4分休ふは ♩ (4分音ふ) と同じ長さを休みます。



書くときは、下から上へ書きます。

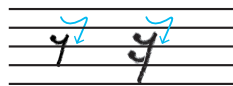
五線ふに書くときは、書き始めを第二線の下から書き始めることをき本とします。

8分休ふと16分休ふ



8分休ふは ♪ (8分音ふ) と同じ長さを休みます。

16分休ふは ♪ (16分音ふ) と同じ長さを休みます。



二つとも、書くときは左上から書きます。

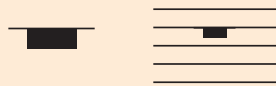
五線ふに書くときは、書き始めを第三線の上から書き始めることをき本とします。



他にもいろいろな休ふがあります。

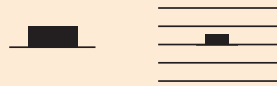
れい
[例]

全休ふ



の四つ分休む
または しょうせつ 小節休む

二分休ふ



の二つ分休む

3. ト音記号と五線, 小節

ト音記号と五線

五線は、音の高さを表すために使われる五本の線です。

加線かせんを使って、さらに高い音ひくや低い音を表すこともできます。

みなさんがよく目にするト音記号と五線を使った楽がくふについて見てみましょう。



ト音記号は、アルファベットの「G」の形を変えたもので、
第二線の下から書き始めます。

第二線が「ト(G)」の音であることをしめして、その楽がくふが表す
音の高さがわかるようにしているのです。

小節など

楽がくふは、ひょうしに合わせにくぎります。

くぎるときは小節ごとにじゅう線などを用います。

4. ブレス(息つき)

V は息つきを表します。

息つきは、フレーズの切れ目など、せんりつやリズム、歌^かしの流れが不自然^{ふぜんぜん}にならないようなところでします。

5. はく・ひょうし

はく …… 音楽の流れのもととなる単位^{たんい}です。心ぞうの動きのように一定の間かくで流れ、その間かくの長さによって音楽の速度が決まります。

ひょうし …… いくつかのはくでつくられたまとまりです。多くの音楽は、そのまとまりをくり返ししながら進みます。まとまりの中に、強めのはくや弱めのはくがあり、音楽の流れをつくり出します。

例^{れい}

4分の4びょうし



…… 4分音ぶを1ぱくとする4びょうし。

1小節^{しょうせつ}は4分音ぶが4つ分になる。

4分の3びょうし



…… 4分音ぶを1ぱくとする3びょうし。

1小節は4分音ぶが3つ分になる。

楽ふでは、ひょうしのまとまりごとに1小節とし、じゅう線などでくぎります。

(→ 3. ト音記号と五線, 小節)

6. 強弱記号など

クレシェンド



crescendo = だんだん強く

*crescendo*はイタリア語です。
楽ふでは *cresc.*とも書きます。

デクレシェンド



decrescendo = だんだん弱く

diminuendo(ディミヌエンド)とも言い、
楽ふでは *decresc.*や*dim.*とも書きます。

7. スタッカート



その音を短く切ることを表します。
音ふでしめされた音の長さよりも短めに音を出し、
次の音との間に間かくをあけます。

どのくらい短くするかは、音楽のふんいきや
イメージによって変わります。

8. タイ



同じ高さの音ふをタイでつなげて、音の長さをのばすことができます。

小節しょうせつのじゅう線などをこえてつなぐこともあります。

9. シャープ, ナチュラル

♯や♮などは変化記号とよばれ、音の左どなりに付けて、その音の高さの変化を表します。

♯ (シャープ) 半音高く

♮ (ナチュラル) ♯などで変化させた音を、
もとの高さにもどす

〔例〕

また、変化記号が五線の左はし(ト音記号などの^{みぎがわ}右側)に付いているときは、その五線のだんの^{さいしょ}最初から^{さいご}最後まで、変化記号の付いている音を変化させます。

10. くり返し記号(リピート)

曲のまとまった部分をくり返すことをしめす記号です。
楽ふを見やすくするために考えられました。

〔例〕

でかこまれた部分を2回えんそうする。

曲の最初からくり返す場合は、最初の記号は^{しょう}省りやくする。